

令和8年度 相生市立双葉小学校グラウンドデザイン(全体構想)

相生市がめざす人づくり
未来を拓き 絆ひろがる「相生の教育」の推進
〜生きる力を育み、いきいきと輝く相生っ子づくり〜

<めざす学校像>

- ・児童にとって来たい(来てよかった)学校
- ・保護者にとって預けたい(預けてよかった)学校
- ・教職員にとって勤めたい(勤めてよかった)学校
- ・児童、卒業生、保護者、地域が誇りに思う学校
- ・いじめを絶対に許さない 誰もが過ごしやすい学校



『あいらぶ ふたば』自分・学校・友だち・先生・家族・地域 みんな大好き

双葉中学校区のめざす子ども像
【知】自ら考え、自ら学ぶ子ども
【徳】自分も相手も大切にできる子ども
【体】元気で粘り強い子ども
【つながり】社会の一員として行動する子ども

【学校教育目標】 <めざす子ども像>

【豊かな心を育み、知・徳・体の調和のとれた実践力のある児童の育成】

<【知】よく考える子 【徳】思いやりのある子 【体】たくましい子>

学校経営の重点

資質・能力(学び方)

子どもたちの良さ・力を伸ばします！

- 「双葉モデル」の継続<<授業で勝負>>
- ハイブリット学習の研究
ICT活用&絆・ふれあい重視
- 個に応じた指導(ドリルの活用)
個別の支援計画・指導計画の実施
- 夢を紡ぎ合うキャリア教育の実施
- 学習環境の工夫
(オープンスペース・読書環境)
- 家庭学習の指導



豊かな人間性(心の持ち方)

子どもたち一人一人を大切にします！

- 《子どもファースト》
- 安心できる絆・居場所づくり
～ 厳しい立場の子どもを中核に～
- セルフシステム・レジリエンスにつながる活動づくり
～ 縦割り活動、表現の場の充実～
- 「凡事徹底」の推進
あすこそ運動(あいさつ・スリッパ・腰骨・そうじ)
- 道徳教育・人権教育の推進
いのち、規範意識を大切に
いじめを許さない心を重点に
- 汗かく仕事(手伝い)重視



健康・体力(体の作り方)

協働して健康づくりを進めます！

- 運動習慣の基礎づくり
・体を動かす喜び、楽しさ経験
・なわとびを中心とした遊び
- 健康な心と体づくり
・早寝・早起き・朝ごはん
・給食を中心とした食育指導
・防災、安全教育の徹底
・生活リズムの見直し
※ 危機管理体制の整理・点検



開かれた学校づくり

中学校区の学校園・家庭・地域とともに歩みます！

- 「幼小中 地域まるごとつながりの中での一貫教育」
- 情報提供・情報発信を通じた《信頼される学校》
- 保護者・地域との連携、学校評議員会等での報告、協議
- 「相生市民さわやかあいさつ運動」「声かけ運動835」

子どもたちを支え、導き、伸ばす 双葉小学校職員

「活気ある風通しのよい職員室 明るく・楽しく・前向きに(ATM)」

<めざす教職員像>

- 子どもたちと共に喜び、共に考える
- 志・倫理観高く、学び続け、自らを高める

<めざす職員集団>

- 知恵と技術と力を結集する(組織力「チームふたば」)
- 家庭・地域の立場になって考える(慎重な事実確認)

「教職員心得3ヶ条」 速い対応(機動力・「報告・連絡・相談」) — 鋭い感性 — 広い視野
「メリハリとバランス感覚」 あたたかさ厳しさ ハードワークとスローライフ(休息、自分磨き)

子どものために学校があり
子どものために教師があり
子どものために教育がある